

5 市民文化の振興

1 市民の自主的な活動の促進

〈目標〉

市民の文化芸術活動を支援するとともに、各種文化事業の開催により市民の自主的な文化活動の促進を図る。

〈取り組みの方向〉

多様なニーズに応じた文化芸術活動の発表及び鑑賞の場を一層充実するとともに、市民文化のさらなる発展のための環境づくりをする。

〈平成 20 年度の主な取り組み〉

(1)文化ホールの整備

- ・寝屋川市駅東地区に地域交流センター（文化ホール）を整備するとともに、その管理運営について検討を行う。

(2)（仮称）文化振興条例の制定

- ・市民文化のさらなる発展のため、『（仮称）文化振興条例』を制定する。

(3)新寝屋川八景の選定

- ・寝屋川市の魅力を再発見し紹介するため、「新寝屋川八景」を選定する。

(4)文化芸術活動の促進

- ・優れた文化芸術作品の鑑賞機会を提供するとともに、新人芸術家の育成や市民の文化芸術活動を支援する。

〈平成 20 年度の取組実績〉

(1)文化ホールの整備

- ①寝屋川市駅東地区開発事業の一環として、市民が自由に集い、ふれあうことで互いの個性と能力を発揮して、芸術文化の振興及びにぎわいの創出を図るとともに、市民福祉の向上をめざすことを目的とした地域交流

センター（文化ホール）の整備に向け、関係部局と協議を進めた。

②地域交流センター（文化ホール）の用地取得を行った。

(2)（仮称）文化振興条例の制定

①（仮称）文化振興条例策定のために寝屋川市（仮称）文化振興条例策定委員会を4回開催し、条例策定に向けての提言をいただくとともに、調査研究を行った。

(3)新寝屋川八景の選定

「新寝屋川八景」を選定するにあたり、広く市民に投票を呼びかけ、11,454票を集めることができた。この結果をもとに市民公募委員3名を含む各種団体代表委員からなる14名の選考委員会において、投票結果、地域的な分布、話題性・重要性、選定委員推薦等を総合的に考慮して「淀川河川公園」「成田山不動尊」「寝屋のまちなみ」「太秦高塚古墳」「寝屋川公園」「ねや川戎」「友呂岐緑地」「萱島駅のくすのき」を選定した。

(4)文化芸術活動の促進

①市民文化祭

市民に文化・芸術活動の発表の場を提供するとともに、鑑賞機会を提供するために市立総合センターで市民文化祭を開催した。

	H20 年度	H19 年度	H18 年度
ステージ参加者数	768 人	495 人	590 人
出 展 作 品 数	594 点	522 点	560 点
見 学 者 数	11,058 人	10,097 人	11,092 人

②アートプラザねやがわ

市民に文化・芸術作品の鑑賞機会を提供するため、市民ギャラリーにおいて「アートプラザねやがわ 2008」を開催した。

5 市民文化の振興

㊦ 市民の自主的な活動の促進

	H20 年度	H19 年度	H18 年度
見 学 者 数	2,453 人	1,534 人	1,352 人

③美術新人選抜展

新人美術家の発掘と豊かな市民芸術を養うことを目的に、市民ギャラリーで開催した。

	H20 年度	H19 年度	H18 年度
応 募 者 数	3 人	—	7 人
選 抜 者 数	2 人	—	3 人
入 場 者 数	659 人	—	575 人

④学生音楽祭

学生音楽祭を市民会館で開催し、市内のすべての中学校・高校・大学を対象に発表の場を提供した。

	H20 年度	H19 年度	H18 年度
参 加 校 数	23 校	20 校	22 校
出 場 者 数	832 人	840 人	814 人
入 場 者 数	1,268 人	1,406 人	2,160 人

〈点検・評価〉

- ・ **地域交流センター（文化ホール）の整備**については、用地の取得を行うとともに、関係各部署との調整及び調査・研究を行った。
- ・ **（仮称）文化振興条例の制定**については、策定委員会からの条例策定に向けての提言を受け、さらなる調査・研究を行うことができた。
- ・ **新寝屋川八景の選定**については、多くの市民参加により、新寝屋川八

景を選定することができた。今後、新寝屋川八景が市民の間に周知され、定着するよう広報やホームページなどでの PR に努め、積極的に活用を図っていく。

- ・ **文化芸術活動の促進**については、現在実施している市民文化祭や学生音楽祭等、市民に好評を得ており、市民に優れた文化芸術の鑑賞や発表の機会を提供することができた。引き続き市民による自主的・自立的な文化・芸術活動を、より定着させていく方向で文化芸術活動を支援していく。

2 文化と歴史のまちづくり

〈目標〉

文化財に対する理解と愛護意識を高め、市民の郷土愛を育むことにより、文化と歴史のまちづくりを進める。

〈取り組みの方向〉

文化財の保存、管理、公開、活用を一層進めるとともに、出土遺物の整理をする。

〈平成 20 年度の主な取り組み〉

(1)文化財の収集・保存及び公開・活用

- ・池の里市民交流センターにおいて遺物等を一括保存管理し、系統的に遺物を展示するなど、文化財の収集・保存及び公開・活用を進める。

(2)文化と歴史のネットワークづくりの推進

- ・歴史見て歩き講座や歴史シンポジウムなどを充実するとともに、文化財などを散策ルートで結び、市民に憩いとやすらぎの場を提供する。

〈平成 20 年度の取組実績〉

(1)文化財の収集・保存及び公開・活用

- ①開発に先立って埋蔵文化財包蔵地の試掘・立会調査を実施している。

- ②平成 20 年 2 月より、寝屋南遺跡(寝屋南 2 丁目所在)の試掘・確認調査を実施し、3 月から 6 月まで発掘調査を行った。また、出土した遺物を中心に整理作業を行い、発掘調査報告書の作成を行った。

寝屋南遺跡の発掘調査による成果を 8 月に広報で特集し、11 月には市民ギャラリーで成果の速報展示会を実施した。

【市立埋蔵文化財資料館入館者数】

H20 年度	H19 年度	H18 年度
2,676 人	2,594 人	2,539 人

- ③小・中学生を対象とした「ジュニア考古学講座」を8月に開催し、一般市民を対象とした「出前講座」にも出講することによって、各世代のニーズに応じて郷土の文化財への認識を深めてもらうよう努めた。

【各種講座】

	H20 年度	H19 年度	H18 年度
実 施 回 数	13 回	7 回	12 回
延べ参加者数	504 人	204 人	199 人

- ④大阪府文化財愛護推進委員による文化財講座開催(月 1 回)に対して、講師の手配や会場の確保等の支援活動を行った。

(2)文化と歴史のネットワークづくりの推進

- ①歴史見て歩き講座・シンポジウムを企画・実施した。

	H20 年度	H19 年度	H18 年度
歴史見て歩き講座実施回数	3 回	5 回	4 回
歴史見て歩き講座参加者数	171 人	408 人	448 人
シンポジウム参加者数	117 人	116 人	101 人

〈点検・評価〉

- ・ **文化財の収集・保存及び公開・活用**については、寝屋南遺跡の現地発掘調査を6月に終了し、引き続き出土遺物の整理作業を実施した。これらの成果を現地説明会や広報の特集記事、市民ギャラリーでの遺物展示会・歴史シンポジウム等、多様な方法で市民に向けて発信できた。
- ・ **文化と歴史のネットワークづくりの推進**については、歴史見て歩き講座や歴史シンポジウムを開催することにより、市内の史跡や文化財に対する愛護意識を高め、市民の郷土文化を大切にする意識の高揚が図られた。